

令和 7 年度特定侵害訴訟代理業務試験

論点 [事例問題 1]

問 1 起案

- 1 特許権侵害訴訟における請求の趣旨に対する答弁の記載
- 2 被告方法の構成に関する記載
- 3 文言侵害におけるクレーム解釈及び当てはめ
- 4 均等侵害における第 1 要件の意義及び当てはめ
- 5 公然実施の要件及び当てはめ
- 6 特許法第 102 条第 2 項の推定覆滅事由の要件への当てはめ

問 2 小問

- (1) ア 共同不法行為の成否
 - イ 多数当事者の債権債務関係（免除、時効の完成）
 - ウ 不法行為に基づく損害賠償請求の消滅時効
- (2) ア 既判力の客観的範囲（民事訴訟法第 114 条第 1 項）
 - イ 既判力の主観的範囲（民事訴訟法第 115 条第 1 項第 3 号）
 - ウ 特許侵害訴訟の訴訟物（請求項単位、特許権単位）